

# たのはた

広報

人と自然が織りなす  
心豊かな協働の村



岩手県指定無形民俗文化財  
大宮神楽  
平成十九年七月吉日

## 受け継ぐ伝統芸能。舞う「勢剣」<sup>せいつるぎ</sup>

12月4日に開催された、歳末たすけあい演芸会。大宮神楽では、小学生が大人顔負けの舞を披露しました。写真は「勢剣」を舞う関口誠くん(4年)(関連記事 15 ページ)

主な内容

- 石原村長新年のあいさつ ..... 2頁
- 酉年生まれ今年の抱負 ..... 4頁
- 歯の健康優良児表彰 ..... 6頁
- 震災遺構 明戸海岸防潮堤が完成 ... 7頁

2017  
No. 598

1



# 迎春

平成29年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年発生した台風10号の大雨は、村にも甚大な被害をもたらしました。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。村としては、被災した生活橋の修繕について、地域コミュニティ維持の観点から、緊急対応したところであります。

また、村民の方々が、隣接する岩泉町民のためにボランティアや募金などの支援活動を積極的に行っていたことに敬意を表します。村としても同郷のものとして、人間愛を持って後方支援を続けて参る所存です。

新年を迎え思うことは、田野畑に住んでいる方々を大事にすること、「人を手段」としない社会を創る事に心血を注いでいくこと、人づくりは村づくりという理念によって、人が変わり地域も変わり、そして村を変えていくことが大切だということです。

吉田松陰が松下村塾で学び、藩主への御前講義によりその才能が開花し、西洋の先進文明に心を打たれて外国留学を決意したように、外に目を向けることで、一人の人間の学びの場が広がっていく様は、まさに地域創生における人材育成・人づくりが大切な事を示していると感じています。

田野畑村の地域づくりは、これまで築き上げてきた歴史のうえに、時代が変貌しても変わることのない、「人が目的」の地域社会を創りだすことだと思えます。

第三セクターについては、設立の趣旨やその原点を振り返り、地域産業に貢献する会社として改善し、機能させることが肝要と考えます。一次産業の振興なくして地域の産業や地域経済は回りません。海の仕事、野の仕事、山の仕事を

基盤とした地域づくりにつなげて参ります。

また、村では、未来に向けた地域づくりの基盤として、昨年10月に、村内全域に超高速光プロードバンドの整備を行いました。今年度は、この光回線を利用した、観光防災Wi-Fiや教育ICTが整備されます。超高速光プロードバンドの整備により、この地に住んでいるながら、世界的なビジネスができる地域として、選択して頂ける環境が整備され、定住化・産業化・雇用創出につながるものと期待しております。

吉田松陰の言葉に、「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし」という言葉があります。地域創生の取り組みは、道半ばではありますが、村民のために抱いた新年の思いを実現していくために努力して参ります。

最後となりましたが、本年が村民の皆さまにとって、希望に満ちあふれた年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

石原弘 村長





# 酉年生まれ 今年の抱負

2017年は酉年。村内の酉年生まれは264人(12月1日現在)。年男女の皆さんに今年の抱負を伺いました。

大正10年  
1921年  
生まれ



相模 長作さん  
(田代・95歳)

長生きの秘けつは、たばこは吸わない、お酒も飲まない、ハイカラもしないこと。今年は、村の発展につながるいい年になればいいです。

中村 海翔くん  
(羅賀・11歳)

去年は、キャプテンとして野球を頑張りました。4月から中学生になるので、中学校でも野球を頑張ります。

平成17年  
2005年  
生まれ



中村 喜美子さん  
(羅賀・47歳)

今年も家族全員が健康に過ごせるいい年になりますように。

昭和44年  
1969年  
生まれ

昭和44年  
1969年  
生まれ

平成17年  
2005年  
生まれ

昭和44年  
1969年  
生まれ



有谷 恵さん  
(机・47歳)

去年は、体調があまりよくなかったので、今年は、健康に過ごせればいいです。息子の野球の応援も頑張ります。

有谷 拓翔くん  
(机・11歳)

去年は、野球の県大会で3位になることができました。今年は、県大会で優勝できるように頑張ります。

平成17年  
2005年  
生まれ



工藤 友香さん  
(真木沢・11歳)

去年は、スクールバンドとバレーを頑張りました。今年の目標は、バレーで県大会ベスト8とスクールバンドの金賞です。4月から6年生なので、みんなを引っ張っていきたいです。

昭和56年  
1981年  
生まれ

工藤 さゆりさん  
(真木沢・35歳)

小学生と中学生の娘がバレーをやっています。今年も、娘のバレーの追っかけを頑張ります。

平成5年  
1993年  
生まれ



佐々木 優樹さん  
(菅窪・23歳)

今年もおじいちゃん、おばあちゃんが元気で長生きしてくれればいいです。

昭和8年  
1933年  
生まれ

佐々木 百喜子さん  
(島越・59歳)

健康に気をつけなければならぬ年になりました。今年も健康に気をつけて元気に過ごしたいです。

佐々木 啓子さん  
(西和野・59歳)

2人の孫に、おこづかいをたくさんあげられるように仕事を頑張ります。

昭和32年  
1957年  
生まれ

昭和32年  
1957年  
生まれ

佐々木 長年さん  
(島越・59歳)

昨年よりもたくさんのお客さまに羅賀荘に来て頂き、いい年にしたいです。

昭和32年  
1957年  
生まれ



三浦 康子さん  
(島越・71歳)

復興がさらに進んで、皆さんが希望の持てるいい年になればいいです。

昭和20年  
1945年  
生まれ

昭和44年  
1969年  
生まれ

畠山 エビリンさん  
(七滝・47歳)

今年も、羅賀荘でお客さまのために一生懸命に頑張ります。





完成した震災遺構 明戸海岸防潮堤。被災当時の姿をそのままに、震災の記憶を後世に伝える



震災遺構明戸海岸防潮堤の全景



津波で決壊した明戸海岸防潮堤



震災前の明戸海岸防潮堤

東日本大震災津波によって決壊した明戸防潮堤は、昭和44年に完成し、水門を含めた総延長は378㍎、高さは9㍎でした。村は、震災の教訓を次世代に伝えていくため、地区住民との意見交換などを実施し、震災遺構として防潮堤を保存するための整備を進めてきました。

震災遺構明戸海岸防潮堤は12月12日に完成。津波によって決壊した防潮堤が、被災当時の姿をそのままに保存されています。

遺構保存部分の総延長は221㍎。見学路や被災前後や決壊の瞬間の写真を使った解説板が整備され、津波の脅威や当時の惨状を体感することができます。

震災遺構は、誰でも自由に見学することができ、次世代への震災体験の伝承、住民や観光客の防災意識の高揚にその活用が期待されています。

また、隣接するエリアには、環境省による園地の整備が予定されています。



◆ 予約・問い合わせ先：NPO法人体験村・たのはたネットワークでは、震災遺構施設や周辺の被災エリアで地元住民のガイドによる津波体験の語り部ガイドを行っています。

◆ 予約・問い合わせ先：NPO法人体験村・たのはたネットワーク（☎0194-3711211、FAX0194-333355）

## 後世に伝える震災の記憶と教訓

# 震災遺構 明戸海岸防潮堤 完成



和山 遥ちゃん  
(切牛)



町平 和心ちゃん  
(菅窪)



畠山 幸太くん  
(田野畑)



菊地 爽那くん  
(沼袋)



関口 結大くん  
(鳥越)



関口 翔大くん  
(鳥越)



大澤 千華ちゃん  
(和野)



畠山 煌海くん  
(真木沢)



佐々木 泉慧くん  
(猿山)



北田 汐帆ちゃん  
(北山)



佐々木 飛人くん  
(西和野)



佐藤 颯和くん  
(切牛)



山根 楓雅くん  
(羅賀)



松坂 湊音くん  
(菅窪)



小松山 涼楓ちゃん  
(机)



小野寺 葵ちゃん  
(和野)



熊谷 美紗ちゃん  
(田代)



佐藤 優澄華ちゃん  
(机)



川畑 真惟ちゃん  
(羅賀)



工藤 春輝くん  
(大芦)



浅見 瑠架ちゃん  
(田野畑)



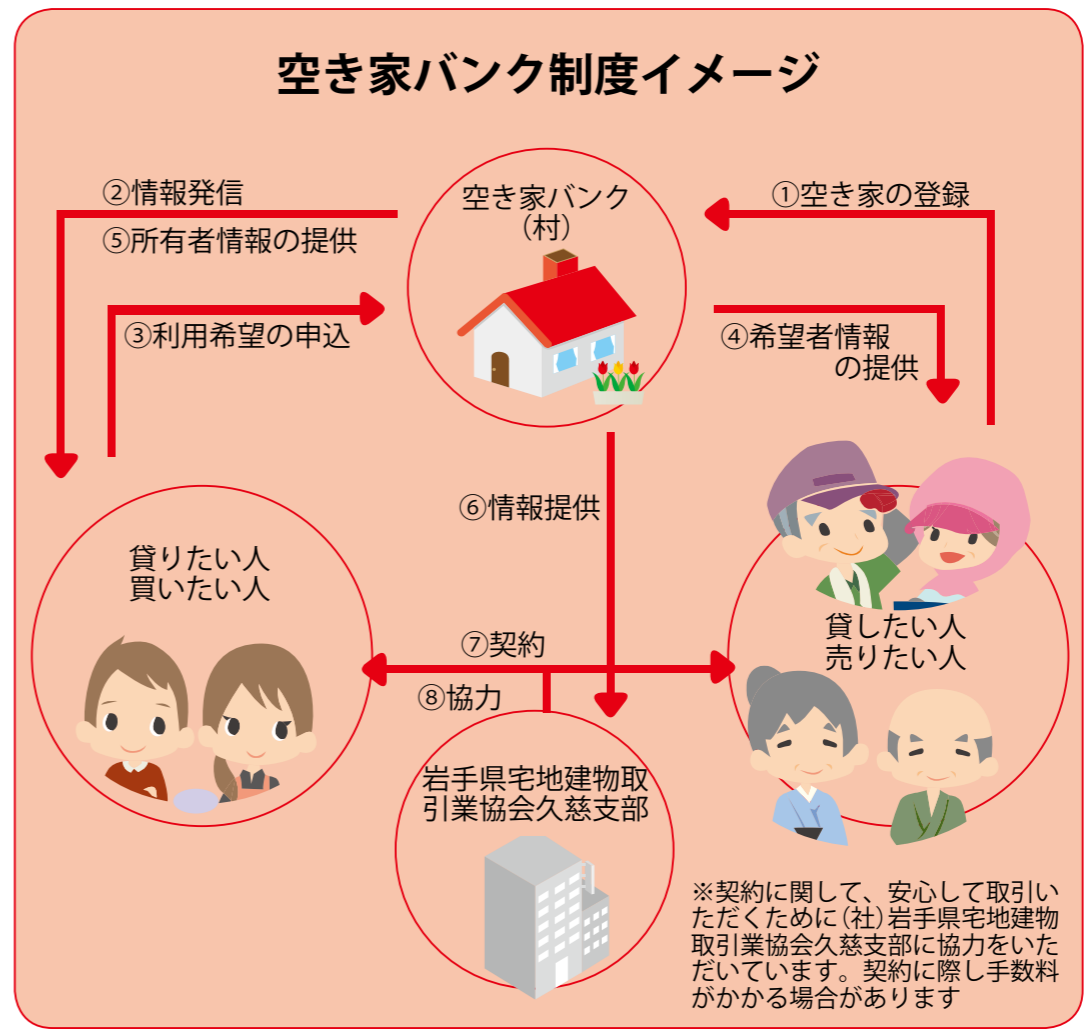
伊藤 文知朗くん  
(菅窪)

## 虫歯ゼロ ピカピカ3歳児

村は12月13日、本年度の「歯の健康優良児」を表彰しました。表彰を受けたのは3歳児で虫歯の無かった22人。近藤貴樹歯科診療所所長が表彰状と記念メダルを贈りました。子どもたちは受賞を喜びながら「これからもきちんと歯磨きをします」と誓いました。



# 知っていますか 空き家バンク制度



※契約に関して、安心して取引いただくために(社)岩手県宅地建物取引業協会久慈支部に協力をいただいています。契約に際し手数料がかかる場合があります

空き家バンク制度とは、空き家物件の情報を自治体のホームページなどで提供する仕組みのことをいいます。自治体は、地元の方々から広報誌やホームページなどで空き家情報を広く募集し、移住・定住希望者向けの物件情報を収集し、提供しています。

村は平成20年から、空き家バンクを開設し、移住・定住を促進してきました。

平成22年まで村外からの移住者は順調に推移していましたが、東日本大震災の発生により、被災者や工事関係者の空き家住宅の需要が急増。しばらくの間、登録件数がない状況が続いていました。

村は、空き家バンクの登録件数を確保し、移住・定住者の受け入れ環境を整えるため、本年度6月に移住・定住促進の担当として、地域おこし協力隊の高木智彦さんを採用。聞き取り調査や目視確認で村内の空き家の状況調査などを行い、空き家バンク台帳の整備などを進めてきました。本年度は、空き家バンクに3件の物件を登録。うち2件成約済みとなっています。

空き家バンクに登録できる物件は、すぐに入居が可能で、賃貸や売却を希望する物件。入居者や入居を希望する人が住宅を改修する

費用を補助する制度もありますので、貸借可能な空き家をお持ちで、空き家バンクに登録を希望する人は、お気軽にご相談ください。

◆問い合わせ先：地域おこし協力隊高木(☎080-1315618478)

## 住宅の改修費補助制度

村内の空き住宅に入居を希望する村外の人が、その住宅の改修工事をする場合に、改修費用の一部を補助する制度です。

◆対象者：村外に住所があるまたは村内に転入して1年以内の人

◆補助対象経費：空き住宅の機能向上のために行う修繕や模様替え、設備改善(壁紙やふすまの張り替え、畳替え、網戸の設置、改築による部屋の模様替え、トイレの洋式・簡易水洗化、浴室タイルの張り替え、照明器具の設置など)

◆補助金額など：改修に要した経費の2分の1以内の額で上限100万円を補助。ただし、同一申請者・物件に対して1回限りとします

◆問い合わせ先：政策推進課(☎3412111 内線63)

# 拓洋台団地の宅地を分譲します

村は、拓洋台団地4区画の宅地を分譲します。

◆対象者：現に羅賀・島越地区に住所のある人。平成23年3月11日に羅賀または島越地区に住所のあった人。東日本大震災で被災した机および明戸地区の人

※すでに住宅再建済みの世帯から世帯を分離しての購入も可能です

◆受付期間：2月28日(火)まで

◆申し込み方法：申込書に必要事項を記入のうえ、次の書類とあわせて提出してください。

①住民票(東日本大震災以降に住所変更をした人は戸籍附票) または罹災証明②納税証明書③所得証明書  
※申込書は、建設第二課で配布しているほか、村ホームページからもダウンロードすることができます

◆宅地の概要：都市計画区域外、上水道(水産飲雑用水)、下水道(漁業集落排水)

◆分譲条件：3年以内に住宅を建設してください。10年間は転売を禁止します。被災者を優先します

◆問い合わせ先：建設第二課(☎3412113 内線532)

## 拓洋台団地案内図



分譲宅地		
所在地番	面積(㎡)	分譲価格(円)
羅賀 193-17	330.04	1,287,156
羅賀 193-38	330.61	1,471,214
羅賀 193-44	330.41	1,500,061
羅賀 193-46	330.11	1,449,182

## 消防団出初め式を開催

村消防団出初め式を開催します。出初め式は消防の仕事始めの行事であり、新年恒例行事の一つです。

田野畑中学校では、観閲や各種点検、菅窪地区の国道45号では分列行進を行います。

地域防災の要である村消防団へのご声援をお願いします。

◆日時：1月8日(日)

午前9時45分～11時15分

◆主会場：田野畑中学校

◆分列行進：国道45号田野畑

駐在所前(午前10時35分)

◆問い合わせ先：宮古消防署 田野畑分署(☎3412100)



昨年の出初め式。分列行進の様子



# 剣道がつなぐ新たな絆



昇段試験に合格した村剣道協会の皆さん。左から高橋信行さん、早野真さん、山根成一さん、畑中謙治さん

## 村「任期付職員」の採用試験を実施します

村は、平成28年度田野畑村「任期付職員」の採用試験を次のとおり実施します。受験を希望する人は忘れずに申し込んでください。

「任期付職員」とは、専門的知識を有する人や一定の期間内に限り業務量の増加が見込まれる仕事に従事する人を任期を定めて採用するものです。

◆職種・採用予定人数：一般事務職・3人、土木技師・1人、保健師・2人

◆受験資格

【一般事務職】：昭和51年4月2日以降に生まれた人  
 【土木技師】：昭和46年4月2日以降に生まれた人で、高校以上の土木系学部・学科を卒業した人または平成29年3月末までに卒業見込みの人もしくは土木系業務の実務経験5年以上で、土木施工管理技士・監理技術者・技術士いずれかの資格を有する

人

【保健師】：昭和46年4月2日以降に生まれた人で保健師の資格を有する人または平成29年3月31日までに取得見込みの人  
 ※受付期間は、午前8時30分から午後5時まで

◆受験手続：申込用紙を提出してください。用紙は、役場総務課で配布します。また、村ホームページからもダウンロードできます。

◆一次試験：書類選考

◆二次試験：2月上旬に村役場で個人面接などを予定しています

◆採用予定日：4月1日

◆申し込み・問い合わせ先：総務課（〒028-18407 下閉

伊郡田野畑村田野畑143-1、☎0194-34-2111 内線11）

## みちのく潮風トレイル 海のアルプスウォーキング

岩手県東北広域振興局では、みちのく潮風トレイル普代南～田野畑ルートの開通を記念して、海のアルプスウォーキングを開催します。

海のアルプスとして名高い黒崎と北山崎。北山崎展望台をスタートして普代駅へ向かう自然歩道あり、海沿いの道ありの普代南ルート心地よい潮風を感じながら歩きます。

- ◆日時…1月22日(日) 午前8時15分～午後3時30分
- ◆集合場所…三陸鉄道普代駅 受け付けは、7時45分から  
 ※Bコースは、国民宿舎くろさき荘で正午から受け付けを行います

- 【Aコース】…北山崎展望台～国民宿舎くろさき荘（約10km）
- 【Bコース】…国民宿舎くろさき荘～三陸鉄道普代駅（約8km）
- 【Cコース】…北山崎展望台～国民宿舎くろさき荘～三陸鉄道普代駅（約18km）

- ◆定員…50人
- ◆参加料…無料
- ◆持ち物…水筒（水分補給）、防寒着、雨具、健康保険証（写し可）
- ◆申込期限…1月14日(土)
- ◆その他…幼児・小学生は、保護者の同伴が必要です
- ◆申し込み・問い合わせ先…みちのく潮風トレイル（八戸～普代間）利用促進協議会事務局（☎0194-53-5756、FAX 0194-66-8066、メールアドレス info@kuji-tourism.jp）

11月27日に宮古市の千徳地区体育館で開催された剣道段位審査会に村剣道協会（早野一弘会長、会員8人）から4人が挑戦しました。試験は、学科・試合形式の実技・剣道形の3科目で行われ、畑中謙治さん（27）＝青森県むつ市＝が3段、山根成一さん（27）＝羅賀＝と早野真さん（32）＝羅賀＝が2段、高橋信行さん（34）＝田野畑＝が初段に合格しました。

3段に合格した畑中さんは、東日本大震災の復興関連工事のため約3年前から田野畑に在住。現在は、島の越漁港東防波堤の工事を行っています。

小学校から高校まで剣道を習っていた畑中さん。近くで剣道ができるところはないか探していたところ、村内のお店で剣道着を着た小学生を見つけ、村でも剣道ができることを知りました。昨年6月頃から、村剣道協会の皆さんと一緒に練習や小学生への指導を行っています。

「皆さんとてもいい人で、温かく迎え入れてくれました。小学生に剣道を教えるのは初めての経験ですがとても楽しいです」と畑中さんは笑顔で話してくれました。畑中さんは続けます。「現在の工事が3月で完成予定です。村での

生活は、正直不便だなと思うこともありましたが、いざ青森に戻るかもしれないと思うと、田野畑で過ごした3年間を振り返りとてもさみしい気持ちになりました」とうつぶさに話しました。早野会長は「畑中さんは、小学生からとても人気があり、指導を手伝ってもらって非常に助かっています。剣道がとても強く、剣道協会のメンバーにもいい刺激になっています。震災は、村に甚大な被害をもたらしましたが、震災がなかったら畑中さんとの出会うことはできませんでした。このような出会いをこれからも大切にしていきたいです」と前を向きました。



小学生に剣道を教える畑中謙治さん





伊達勝身岩泉町長へ募金を届けた代表児童たち

### 小中学生が被災地支援活動

田野畑小学校（野中光男校長、児童155人）では、台風10号で甚大な被害を受けた岩泉町を支援しようと、校内や6年生の学年レクリエーションで募金活動を行いました。12月9日、代表児童4名が岩泉町役場を訪れ、伊達勝身岩泉町長へ集めた募金を手渡しました。11月8日に田野畑中学校（小森田孝道校長、生徒86人）では、校内での募金や文化祭の売り上げ金、2年生が盛岡市で行った物産販売での売り上げ金を災害義援金として岩泉町へ送りました。

### 小田原から支援のミカンが届く

12月13日、神奈川県小田原市にある石橋センター（今井美香代表）から村へ約4トンのミカンが届けられました。今井代表の義母、田代若子さんが羅賀地区の出身という縁で、震災と台風10号の被災地を支援しようと、届けられたミカン。

アズビィ体育館で行われた仕分け作業には、ハックの家や田野畑ライオンズクラブなどから約30人が参加。ミカンは、世帯ごとに袋詰めされ、行政区長さんを通じて村内全世帯へ届けられました。



アズビィホールで行われたミカンの仕分け作業の様子



県大会出場を決め笑顔の田野畑ライオンズ

### 6年生最後の大会で県大会へ

12月10、11日の2日間、宮古市民総合体育館を会場に第40回岩手県ミニバスケットボール交歓大会宮古地区大会が開催されました。宮古・下閉伊地区から8チームが出場した今大会。スポーツ少年団女子ミニバスケットボール田野畑ライオンズが準優勝で県大会出場を決めました。キャプテンの佐藤愛華さん（6年）は「県大会の目標はベスト8。6年生最後の大会なので、このチームで1試合でも多く試合ができるよう頑張ります」と笑顔で目標を話しました。

この交流会は、東日本大震災発生後から島越地区の住民と交流を続ける「虹」が復興支援の活動を若い世代につなげたいという思いで昨年開催しています。

交流会では、「虹」の会員の案内で紫波総合高校の文化祭「紫鷲祭」やオガールプラザの見学などを行いました。紫鷲祭では、虹の会員と島越地区の住民が島越地区の伝統のおやつ「福耳かりんとう」

10月29日に、村と紫波町の復興支援ボランティア「虹」（佐藤淳子代表）が開催した復興交流会。島越地区の住民7人と田野畑中学校（小森田孝道校長、生徒86人）の生徒3人が参加し、紫波町で虹の会員や紫波総合高校（渡辺好章校長、生徒508人）の生徒と交流を深めました。



かりんとうを販売する高校生

を手作りして販売。中学生は紫波総合高校生徒会のメンバーと一緒に売り場に立ち、村の海産物と福耳かりんとうなどを販売しました。

11月24日には、紫波総合高校の生徒4人と紫波町復興支援ボランティア「虹」の会員4人が村役場を訪れ、石原村長へ文化祭で販売した福耳かりんとうなどの売上金を東日本大震災被害に対する支援金として手渡しました。生徒会長小堀内みなみさん（2年）は「少しでも復興支援ができればと思います。虹の皆さんに協力して頂き、かりんとうを販売しました。田野畑の復興に役立ててください」と力強く話しました。



### 介護予防ボランティアと

### 認知症サポーターの養成講座

村地域包括支援センターでは、はつらつ教室などの介護予防教室を手伝って頂いたり、いくつになっても住み慣れた土地で生活するために、介護予防や認知症に関する正しい知識や技術を学び、家族や地域の人にも支援の輪を広げる「介護予防ボランティア」と「認知症サポーター」の養成講座を開催します。

#### ◆日程

##### 【1日目】

◆日時：1月12日（休） 午後1時～3時30分

##### 【2日目】

◆日時：1月19日（休） 午後1時～午後4時

◆場所：旧保健センター 会議室

◆持ち物：動きやすい服装

#### ◆対象

①村内に在住し、介護予防教室などの活動への協力が可能な人

②11月の養成講座を修了し、認知症の人とその家族への支援に意欲のある人（2日目のみの受講となります）

③医療・福祉・介護などの関係職員などで、介護予防や認知症の支援に意欲のある人

◆申込期限：1月10日（火）

◆申し込み・問い合わせ先：村地域包括支援センター

（☎32-3013）





パルロと遊ぶ小学生たち

## パルロと一緒にクリスマス会

教育委員会は12月4日、「パルロと楽しむクリスマス会」をアズビィ楽習センターで開催。会場には、小学生と保護者15人が集まりました。児童は、会話するロボット「パルロ」に、「歌を歌って」などと話し掛け、パルロと遊んだり、豆電球を使って紙風船ライトを作成。クリスマスツリーに紙風船ライトで飾り付けを行いました。クリスマス会の最後はサンタさんが登場。サンタさんからのクリスマスプレゼントにみんな笑顔を見せました。

## 明戸に輝くイルミネーション

12月18日、「明戸ドリームイルミネーション2016」の点灯が行われ、暗闇にきれいなイルミネーションが輝きました。昨年からは明戸の元気応援団（根木地正富団長）が、地域を元気づけようとしているこの取り組み。昨年より電球約5千個を増やし、明戸公民館そばの空き地に制作された高さ約4メートルの傘状のイルミネーションのほかに、道合勇一さん宅のそばの橋に、針金でかたどったトナカイなどのかわいらしいイルミネーションが輝きました。



明戸公民館そばに立てられた高さ約4メートルのイルミネーション

## 歳末演芸会に約250人が来場

12月4日、村社会福祉協議会が第43回村歳末たすけあい演芸会をアズビィホールで開催しました。

たのはた児童館の園児によるかわいらしい舞台発表や村内外から集まった個人や団体のボランティア出演者9組の舞踊や歌声など出演者の熱演に集まった約250人の観客は、大きな拍手を送っていました。最後の演目は、出演者と会場の皆さんと一緒に踊る田野畑音頭。会場は、たくさんの笑顔で包まれました。



会場全体を使い、みんなで踊った田野畑音頭

## 冬の事故防止を呼び掛ける

村、交通安全協会田野畑支会、村老人クラブ連合会、岩泉警察署など約30人が12月2日、道の駅たのはたで交通安全キャンペーンを実施しました。冬の交通事故防止県民運動に合わせて行ったもので、国道45号を宮古方面に向かう車のドライバーにチラシや啓発用品、たのはた牛乳などを配布。スピードダウンの徹底や冬期間の事故防止を呼び掛けました。参加した子どもたちは「安全運転をお願いします」と元気に呼び掛けていました。



ドライバーに啓発用品を渡し、安全運転を呼び掛ける



目録の贈呈式には、各芸能団体の会長が出席

## 村の芸能団体3団体へ助成

アサヒグループホールディングス(株)では、平成26年12月から、いわて未来づくり機構と共同で、震災の津波で被災した市町村の復興まちづくりの推進に貢献しようと、郷土芸能の保存・発展に寄与するコミュニティ活動に対して助成を行っています。11月30日に、村芸術文化協会、大宮神楽保存会、甲地鹿踊保存会の3団体が同助成を受けました。甲地鹿踊保存会の奥地貞治会長は「地域全体で協力し、郷土芸能を傳承していきたい」と力強く話しました。

## バドミントンで交流を深める

11月27日、村スポーツクラブと教育委員会、村体育協会がスポーツを通じた交流促進と健康増進を目的に5回目となるバドミントン交流会を開催しました。

小学生から60代までの幅広い世代が集まった交流会には、宮古市や岩泉町など村外からも多くの人参加。バドミントンを通じて交流を深めました。田野畑小学校の小野楓くん(6年)は「大人の人たちに教えてもらいながらバドミントンができて楽しかったです」と笑顔を見せました。



ダブルスでスマッシュを打つ宮古北高校の生徒



# お知らせ

## 知 村教育のつどいを開催します

- ◆日時…1月22日(日)  
午前8時45分～正午
- ◆会場…アズビィホール
- ◆内容…教育振興運動表彰や机地区推進委員会による事例発表など
- ◆講演会…講師 石川結貴さん  
演題「知って安心、ネットとのじょうずな付き合い方(予定)」
- ◆問い合わせ先…教育委員会  
(☎ 34-2226 内線12)

## 知 入札の参加には申請が必要です

- 平成29・30年度の村営建設工事に関する指名競争入札および建設関連業務指名競争入札に参加する人は申請が必要です。  
詳細については、村のホームページを確認するか問い合わせください。
- ◆受付期間…2月1日(水)～28日(火)
- ◆受付場所…建設第二課(〒028-8407 田野畑村田野畑143番地1) ※郵送可
- ◆申請・問い合わせ先…建設第二課(☎ 34-2113 内線400)

## 募 自分史の原稿を募集しています

- 教育委員会では、「千秋万歳～私たちの自分史第13・14集合併号～」の発行に向け、皆さまの原稿を募集しています。締め切りが迫っていますのでご確認ください。
- ◆募集期限…1月31日(火)
- ◆発行予定日…3月末
- ◆応募・問い合わせ先…教育委員会(☎ 34-2226)

## 募 スノボコンを開催します

- 岩泉町結婚支援センターでは、結婚を考える人の出会いの場を支援するため、スノーボードを通じて交流を深める「第2回スノボコン」を開催します。
- ◆日程…2月4日(土)、5日(日)
- ◆場所…平庭高原スキー場
- ◆参加費…4千円
- ◆参加資格…20歳以上40歳程度までの独身男女
- ◆申込期限…1月20日(金)
- ◆申し込み・問い合わせ先…岩泉町結婚支援センター  
(☎ 0194-32-3353)

## 知 宮古下閉伊地区高校芸術展

- ◆日時…1月18日(水)～22日(日)  
午前10時～午後5時(22日は午後3時30分まで)
- ◆場所…宮古市立図書館展示室
- ◆参加高校…宮古高校、宮古北高校、岩泉高校など
- ◆内容…美術工芸、書道、写真、華道、放送文芸など
- ◆問い合わせ先…県高等学校文化連盟宮古支部(県立宮古商業高校内 ☎ 0193-62-6856)

## 知 台風10号による被災者支援

- 台風10号の影響で住宅ローンなどの返済に困っている人は、「自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン」により、住宅ローンなどの免除・減額を申し出ることができます。 ※債務の免除などには、一定の要件を満たすことやローンの借入先の同意が必要です  
詳しくは、ローンの借入先に問い合わせてください。

## 募 優良勤労青少年を表彰しています

- 宮古地域雇用対策協議会では、青少年の雇用安定事業の一環として、事業主から推薦された優良勤労青少年を表彰しています。
- ◆推薦基準
  - ①高等専門学校、短期大学、大学を卒業していない人
  - ②平成28年12月1日現在で満25歳未満の人
  - ③平成28年12月1日現在で同一事業所に3年以上勤務している人
  - ④勤労意欲が旺盛で、職場において先輩・同僚から信頼されている人
  - ⑤同一事業所に継続的に就業見込みのある人
- ◆申込期限…1月31日(火)
- ◆申し込み・問い合わせ先…宮古地域雇用対策協議会  
(☎ 0193-63-8609)

## 募 わかりやすい相続登記講座

- 盛岡地方法務局宮古支局では、わかりやすい相続登記講座を開催します。
- ◆日時…1月26日(木)  
午前10時30分～11時45分
- ◆場所…盛岡地方法務局宮古支局(宮古市小山田1丁目1番1号 宮古合同庁舎内)
- ◆内容…不動産登記簿に所有者として記載されている人が亡くなった時に、所有者を相続人に変更するための手続きについて分かりやすく説明
- ◆参加料…無料
- ◆定員…20人程度
- ◆予約・問い合わせ先…盛岡地方法務局宮古支局  
(☎ 0193-62-2337)

## 募 参加者などを募集中

## 知 いろいろなお知らせ

## 知 償却資産の申告手続きを

- 償却資産(確定申告時に減価償却費として経費控除申告をする予定の資産)がある人は、村の台帳に登録が必要ですので、申告手続きをしてください。
- また、発電出力10kW以上の太陽光発電設備も償却資産の対象となる場合がありますので、下表を参考に申告してください。

区分	10kW以上	10kW未満
個人(住宅用)	申告対象	申告対象外
個人(事業用)	申告対象	
法人	申告対象	

- ◆申告期限…1月31日(火)
- ◆その他…申告用紙は、税務会計課にあります
- ◆問い合わせ先…税務会計課  
(☎ 34-2112 内線34)

## 募 林業アカデミー研修生を募集

- 県では、林業への就職を志望する人を対象に、林業の知識や技術を習得できる「いわて林業アカデミー」の平成29年度研修生を募集します。
- ◆研修期間…4月から1年間
- ◆応募資格…高等学校卒業以上もしくは卒業見込みの人で30歳未満の男女
- ◆出願期間…1月16日(月)～2月3日(金)
- ◆選考日…2月18日(土)
- ◆試験科目…小論文および面接
- ◆給付金制度…最高12万5千円/月 ※支給期間最大11カ月。支給要件あり
- ◆問い合わせ先…岩手県林業技術センター研修部  
(☎ 019-697-1536)

人口と世帯		火災	
12月1日現在( )は前月比		(11月21日～12月20日)	
人口	3,598人(-1)	火災の【今月】	0件
男	1,789人(-4)	発件数【今年】	3件
女	1,809人(+3)	無火災の連続記録	(12月20日現在)125日
世帯	1,444世帯(±0)		

## 放射性物質濃度検査 全箇所を目安以下

### ◆検査結果(測定日・12月20日)

測定場所	平均測定値 (Bq/kg/時)
田野畑小学校	0.066
田野畑中学校	0.072
たのはた児童館	0.062
若桐保育園	0.068
役場	0.083
アズビィ楽習センター	0.078
村営野球場	0.032
思惟大橋公園	0.061
北山崎園地	0.054
旧山海ろばたハウス	0.088
鶉の巣断崖園地	0.064

- ◆調査結果…文部科学省による校庭・園庭の空間線量率目安(1時間当たり1マイクロシーベルト)を下回りました
- ◆問い合わせ先…生活環境課  
(☎ 34-2114 内線22)

## 知 ノロウイルスによる 食中毒を予防しましょう

- 秋から冬にかけて全国的に多発するノロウイルスによる食中毒の発生を未然に防止するため、次のことに気をつけましょう。
- ①加熱が必要な食品は、中心部までしっかり加熱する
- ②食品取扱者や調理器具などからの二次汚染を防止する
- ③トイレの後、調理する時、食事の前にはよく手を洗い、清潔なタオルなどで拭くようにする
- ④おうと物や糞便などの汚物は適切に処理する
- ◆問い合わせ先…宮古保健所  
(☎ 0193-64-2218)

## 募 応急手当普及員養成講習会

- 宮古保健所では、救急患者の救命率の向上を図るため、AEDを用いた心肺蘇生法の知識と技術の普及を推進する応急手当普及員の養成講習会を開催します。
- ◆日程…2月1日(水)～3日(金)  
午前8時30分～午後5時30分
- ◆場所…宮古地区合同庁舎1階(宮古市五月町1-20)
- ◆対象…応急手当や心肺蘇生法などの普及に熱意のある人
- ◆内容…応急手当に関する講義および実技
- ◆募集人数…20人程度
- ◆受講料…無料  
※テキストの購入が必要です。テキスト代(4,572円+税)
- ◆申込期限…1月13日(金)
- ◆申し込み・問い合わせ先…宮古保健所 管理課  
(☎ 0193-64-2218)

## 募 三陸鉄道でこたつ列車を運行

- 三陸鉄道(株)では、こたつ列車を運行します。
- ◆区間…久慈駅～宮古駅間1日1往復
- ◆運行期間…3月26日(日)までの土日祝日、1月3日(火)～5日(木)
- ◆料金…乗車区間の運賃と指定席料金500円(全席指定)。1日フリー乗車券も利用可能です
- ◆予約…1カ月前から受け付けます。「うに丼」や「スイーツセット」も予約販売します
- ◆お楽しみ企画…「なもみ」が登場する車内イベントや「乗車証明書」のプレゼントなど
- ◆予約・問い合わせ先…三陸鉄道(株) (☎ 0193-62-8900)





辰巳あきさん

私が担当している観光振興の仕事のひとつに「観光ダイビング」の環境づくりがあります。

そもそもダイビングの環境づくりって何をしてくれるの？って思いますよね。

田野畑村では、観光ダイビング事業を始めるにあたって、震災復興で再建した机浜番屋群に、新たにダイビング施設をつくりました。更衣室や



ダイバーに施設の説明をする辰巳あきさん

シャワールーム、器材干場など完備しましたが、村内にダイビングのことを詳しく知っている人がいないため、実際の使い勝手の良さ悪しさが分かりませんでした。

私は、ダイビングのインストラクター資格を持っているので地域おこし協力隊に選ばれたのは、その腕（資格）を買われたこともあると思います。いろいろな場所でのダイビング経験からダイバー目線で、「こうだったら、もっと使いやすいくなるのに」「あれがあったら良いのになあ」と思うことを改善しています。

また、地元の漁師さんや観光船、サップ船アドベンチャーズなどの海を利用して人たちの調整、飲食店や宿泊施設の人たちや新しい仕事として繋がり協力してもらえそうな村の人たちにダイビングのことを理解してもらう仕事をしています。

あつという間に半年が経ち、自分の中でも田野畑村でやっていく、ダイビングのイメージを掴むことができました。11月19日には、ダイビング施設の見学会イベントを開催しました。

イベントには、岩手県内外からダイバーや見学者など沢山の人が参加していただきました。イベントの様子は、ラジオやテレビのニュース、新聞などで紹介されました。これからは、ダイバーの滞在や住民との交流、子ども向けの体験会など、来春の本格オープンに向けて、準備を進めていきます。

ダイビングは、小学生からシニアまで楽しめる、海のスポーツです。ぜひ机浜番屋群の体験番屋「たのはたダイビングサービス」に遊びに来てください。私が、色々ご相談に乗って、優しく指導しますよ。

みんなの

ひろば

0288407	田野畑村 田野畑 143-1
田野畑村 役場政策推進課	あて
田野畑村 田野畑 00-0	
北山崎 太郎(○歳)	
34-00000	

はがき(表)の記入例です

広報の感想や日ごろの出来事、子どもたちの描いたかわいいイラストなどをはがきに書いて送ってください。スペースが許す限り、ここで紹介したいと思います。

◆投稿するときの注意◆

- ①はがきの表には：住所、氏名、年齢、電話番号を書いてください。ペンネームや匿名での掲載も受け付けます
- ②はがきの裏には：イラストや感想などを書いてください
- ③営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体を中傷するものは掲載できません
- ④感想など、長い文章の場合、一部添削させていただきます
- ◆あて先・問い合わせ先：〒028-8407 田野畑村 田野畑 143-1 田野畑村役場政策推進課(☎34-2111 内線65)

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

(12月16日現在)

寄付金総額	4758万3680円 759件(村内125件、県内178件、県外456件)
取り崩し額	822万9210円
基金残額 (運用益を含む)	3941万2473円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111内線15)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：1月1日(日)～1月31日(火)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
1月1日(日)～3日(火)	北山崎断崖クルーズ観光船 初日の出号	観光船発着所(島越)	1日 1便 6:30～2便 10:00～ 2日、3日 1便 10:00～	ホテル羅賀荘(☎33-2611)
8日(日)	村消防団出初め式	田野畑中学校ほか	9:45～11:15	宮古消防署田野畑分署(☎34-2100)
10日(火)	アズビィ健康スポーツ教室「ソフトテニス教室」	アズビィ体育館(17日、24日、31日も開催)	18:00～19:00	教育委員会(内線11)
11日(水)	アズビィ健康スポーツ教室「バドミントン教室」 子育てサロン「マタニティ」	アズビィ体育館(18日、25日も開催) アズビィ楽習センター和室	19:30～21:00 13:00～16:00	村地域子育て支援センター(☎37-3577)
13日(金)	アズビィ健康スポーツ教室「フットサル教室」	アズビィ体育館(20日、27日も開催)	19:00～21:00	教育委員会(内線11)
16日(金)	アズビィ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビィ体育館(23日、30日も開催)	20:00～21:00	
18日(水)	乳児健診	健診センター	12:20～15:30	保健福祉課(内線54)
22日(日)	村教育のつどい	アズビィホール	8:45～正午	教育委員会(内線12)
30日(月)	健康相談	羅賀地区コミュニティセンター	10:00～11:30	保健福祉課(内線52)
31日(火)	介護保険料8期 後期高齢者医療保険料7期 納期限 村民税4期 国民健康保険税8期 納期限			生活環境課(内線21) 税務会計課(内線31)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

◆はまぎくコース(羅賀・机・北山方面)

月日	場所	時間
1月24日(火)	拓洋台団地集会所付近	9:05～9:20
	グループホームつくえ付近	9:50～10:05
	北山地区総合センター付近	10:15～10:30

◆たんぼぼコース(田野畑・切牛方面)

月日	場所	時間
1月24日(火)	黎明台団地集会所付近	11:15～11:30

◆おきなぐさコース(沼袋・甲地方面)

月日	場所	時間
1月25日(水)	産直プラザ尾肝要付近	9:15～9:30
	リアス倶楽部付近	9:35～9:50
	甲地公民館付近	10:00～10:15

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

はまなす  
掲 示 板

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課(1月20日まで)にお送りください。正解者の中から抽選で2名様にプレゼントが当たります。

Q1 2017年はとり年。12月1日現在、村内のとり年生まれの人は何人?

- A) 264人
- B) 255人

■前号(12月号)の正解 Q1→C

■当選者(敬称略)

熊谷 正初(田野畑)、上山 明美(田野畑)、川畑 紗南(羅賀)、島山 裕(盛岡市)、山内 富美代(宮古市)

おめでた おくやみ

[平成28年11月届け出分]

(一部敬称略)

●健やかに ～誕生～

- 川畑 瑛栖(えーす)くん 達・幸子 羅 賀
- 金澤 優空(ゆあ)ちゃん 翔・枝理 和 野
- 熊谷 新汰(あらた)くん 亨・梨那 尾肝要
- 吉塚 雄大(ゆうだい)くん 純平・英里 田野畑

■安らかに ～お悔やみ～

- 熊谷 昭治郎(88) 猿 山
- 下机 セツ(87) 机
- 和山 浩(93) 大 芦
- 長久保 五三郎(94) 机
- 似内 重人(80) 菅 窪

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口にお申し出てください

編集ごぼれ話

新年あけましておめでとございます。今月号から地域おこし協力隊の2人に、現在の活動や田野畑に住んで感じたことなどを紹介してもらおうコーナーを作りました。辰巳あきさんと高木智彦さんが交代で紹介します。また、「みんなの広場」を復活しました。皆さんからの投稿をお待ちしております。▼昨年は、たくさんの方から取材に協力を頂き、何とか広報を発行することができました。今年もいろいろな場所へ取材に伺いますので、よろしくお願います。(佐々木 歩)





佐々木 <sup>の</sup>心陽くん (1歳10カ月)  
駿也さん・笑利奈さん=西和野=

お母さんからのひとこと

ダンスが大好きで、好きな歌が流れるとどこでも踊っています(笑) 甘え上手で、みんなからかわいがられています。お兄ちゃんと仲良くして、優しく元気に育ってね♡



小長根 <sup>けんた</sup>健太くん (1歳8カ月)  
直さん・奈保子さん=机=

お母さんからのひとこと

歌や踊りが大好きで、ノリのいい曲が流れると踊り出します。最近「ピコ太郎」にハマっています。性格は、楽天的で元気いっぱいな男の子。健康で優しい子になってね。



村長 石原弘の  
村長コラム

28

田野畑に広がる宮沢賢治の世界！

田野畑村で教師を務められた人から昨年の暮れに、はがきをもらいました。

はがきの内容は、「島越小学校に赴任した際に、島越の地名に宮沢賢治がエスペラント語で説明を記した文章があったと記憶しており、『島』と『越』に分割されて説明されているものだったと思います。よろしければ、その説明文を教えてください」というものでした。

宮沢賢治が田野畑村を訪れたのが、大正から昭和に年号が変わる時代のことですから、約92年の年月が経過したことになります。先生が目にした宮沢賢治の残した文章は、看板などに走り書きしたものか、メモ帳に書いて地元の人に渡したもののかなど定かではありませんが、浪漫を感じる内容で、田野畑村の文化に新たな1ページが加わった感じがします。このことについて、できる限り調査をしていきたいと思っていますので、もし先人の方々から聞いたことがありましたら、教えてください。

宮沢賢治は、地域の歴史と文化、岩手の偉人などと言われ、数々の作品が残されています。その宮沢賢治文学の足跡が本村にも残されていることを、田野畑村の百年近い歴史の中でも特質する文化的な財産として、その文化を顕彰しながら大切にしていきたいと思っています。